

研究室紹介

対人ケアマネジメント領域

学校栄養研究室

教授 鹿内彩子 連絡先: s_shikanai@auhw.ac.jp

主な研究テーマ：

学齢期の子どもの栄養と健康問題に関する研究
開発途上国における学校給食に関する研究 など



主な担当講義科目：

応用栄養学演習・特論

研究室の紹介：

当研究室は、2019年度より大学院生を受け入れることになりました、新しい研究室です。

子どもや途上国のもつ栄養と健康の問題に、学校、給食の視点を持ちながら取り組んでいきたいと考えています。

研究紹介：

途上国(主に東南アジア)の食事調査を主に研究をしてきました。

Shikanai S, Ly KR, Takeichi H, Emiko S, San P, Sarukura N, Kamoshita S, Yamamoto S. Sugar Intake and Body Weight in Cambodian and Japanese Children. Journal of Medical Investigation. 61:72-78: 2014.

Ishikawa M, Kusama K, Shikanai S. Food and Nutritional Improvement Action of Communities in Japan: Lesson for the World. Journal of Nutritional Sciences and Vitaminology. 61: S55-S57S: 2015.

Rueangsri N, Pachotikarn C, Taechangam S, Kongkachuichai R, Sungpuag P, Shikanai S, Yamamoto S. Database of glucose, fructose, sucrose, lactose and maltose in snacks/beverages in Thailand. Journal of the Medical Association of Thai. 101(5): 569-74: 2018.

大学院進学を希望する方へひとこと：

途上国、子どもの栄養問題に興味関心があり、青森県・日本の現状や問題点、良い点を、途上国と関連させながら研究してみたいと考えている方、日本で現場にフィールドをもっており、子どもの栄養・健康問題についての研究にも興味があるが、どの様に研究を開始すればよいのかと迷っている方、研究したことを実践の現場に生かしていきたいと考えている方も、ぜひ、一緒に研究に取り掛かってみませんか？

プロフィール：

学歴： 大妻女子大学 家政学部 食物学科 管理栄養士専攻 卒業

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科

博士前期課程 修士(生活科学)

博士後期課程 博士(学術)

職歴： 管理栄養士として国立病院、特別養護老人ホームなどに勤務。

青年海外協力隊として活動(マラウィ・フィリピンの現地病院に勤務)。

NGOに所属し、カンボジア現地駐在の管理栄養士として国立小児病院での勤務も経験。

十文字学園女子大学アジアの食・文化研究所客員研究員、聖徳大学講師を経て、2017年4月より現職。

